

## 男性育児休業取得状況について

### 株式会社ナカシマの取組状況について

#### (1) 男性の育児休業取得促進に取り組むきっかけ・背景

弊社就業規則改定時に、R4年10月の育児・介護休業法の改正内容も就業規則に追記し、男性も育児の取得により配偶者と共に育児に専念する機会、及び従業員が働きやすい環境を提供したいと思った為。

#### (2) 男性の育児休業取得促進にかかるこれまでの取組

- ・産後パパ育休、育児休業の取得方法等を就業規則・規程に明文化。  
(各従業員がいつでも規則・規程の内容を確認できる状態)
- ・育休を取得しやすい職場環境とするため、上席者・管理職等、全社に育休制度を周知した。

#### (3) 取得促進にあたっての課題とその解決策、工夫した点

- ・従業員の仕組みや制度への理解がまだ低いので、従業員から質問があった際は厚生労働省のHPを確認したり、会社の顧問社労士に問い合わせをし、正確な情報を伝えるように心がけている。
- ・育休の申し出があった際は、当該従業員が所属する部署長に対し、円滑に育休取得が進むよう人事からもフォローを行なっている。

#### (4) 取得者がいる職場の業務継続のために取り組んだこと

育休取得希望従業員は、極力早い時期に育休取得希望を申し出てもらい、該当者が担当する職務を他者が引き継げるよう、所属長・他の従業員との理解と協力を人事からも求めた。

#### (5) 定着に向けて、更に取り組んでいることがあれば教えてください

- ・育休取得希望者の育休取得期間を社長以下、全社員が共有し、育休取得者の部署内および全社で事前に休業中のフォロー対策を講じている。
- ・今後、育休を取得しようとする者に対し、育休取得経験者がアドバイス出来るよう、会社主体で男性育休への理解を深めるよう啓蒙している。

(1) 育児休業を取得したきっかけ

周囲（友人）で取得している人がいたことに加えて、初めての子育てということもあり、妻と力を併せて子育てを行いたいと思ったから。また、休業を取得すること自体がなかなかできる体験ではなく家族として思い出になると思った。

(2) 育児休業を取得して良かったこと

育児の大変さを肌で感じ理解することで、育休終了後の妻へのフォローが行えること、私が育児一通りを共に行っているので安心して任せられること。また、多くの時間を共に過ごし子育てを通したコミュニケーションをとることで夫婦間の絆も深まったと思う。

(3) 育児休業の取得にあたり、円滑に業務を引き継ぐ上で工夫した点

妊娠が分かり早い段階で会社・上司へ育休取得の意思を伝え業務のスケジュールリングなどをしやすい様に配慮した。早めに明確にすることで自身の業務の引き継ぎも無理なくゆっくり確実に行うようにした。

(4) 育児休業の取得経験を通して業務に生かしていること

まだまだ偏見や否定的な意見が多い男性の育休取得希望者へ取得に向けたフォローを積極的に行えると思う。

(5) これから育児休業の取得を検討している方へのアドバイス

育休中は特に育児以外の家事も積極的に行い、手伝っているという感覚ではなく、主体的に参画することが重要。育児休業は子育ての為はもちろん、妻との関係性においてもとても有意義なものである。

育児休業取得者の声② ～ 育休取得期間 通算 28 日間 ～

(1) 育児休業を取得したきっかけ

奥さんがベトナムに戻って出産するので、長期休みが必要でした。  
また初めての子供ですごく楽しみだったので、生まれる時に立会いたかったからです。

(2) 育児休業を取得して良かったこと

長い休みの間に子供と奥さんの面倒を見られた事です。

(3) 育児休業の取得にあたり、円滑に業務を引き継ぐ上で工夫した点

早い時期から上司に話をして、一緒に働く人達へもお休みすることを伝えました。  
また休みの間に仕事で困ることがないように、準備と引継ぎを行いました。

(4) 育児休業の取得経験を通して業務に生かしていること

同僚が育休を取る事があれば、サポートしたいと思います。

(5) これから育児休業の取得を検討している方へのアドバイス

自分は約1ヶ月育休を取得したが、可能であれば3ヶ月ほど取得して、奥さんと育児の時間を  
過ごせるとより良いと思います。